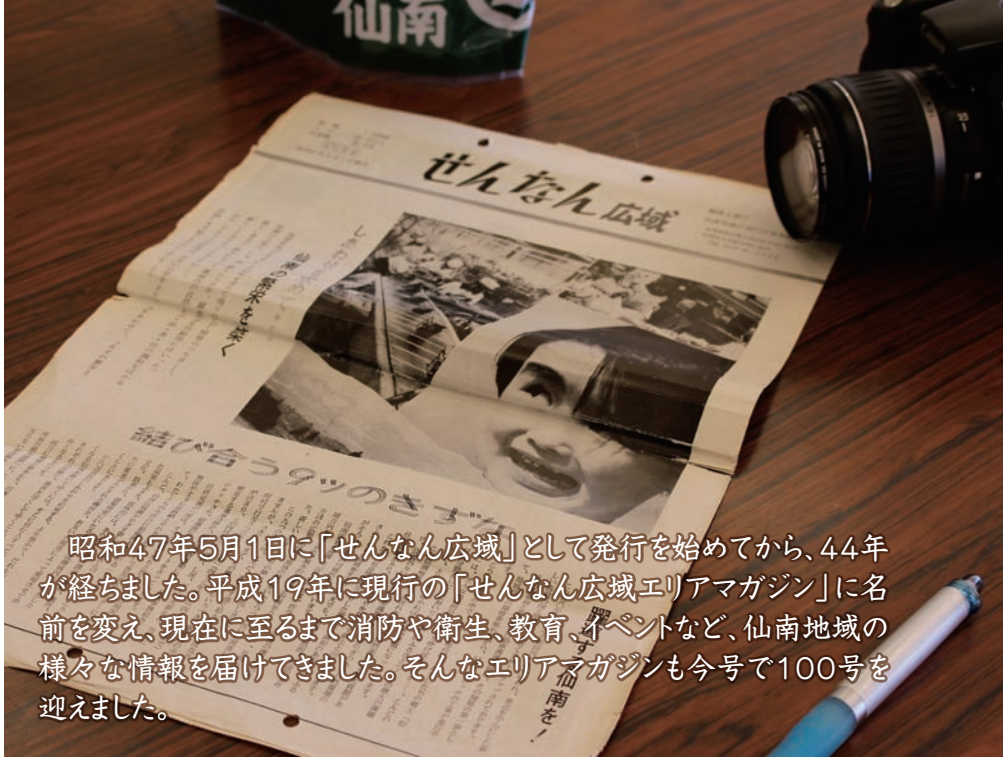
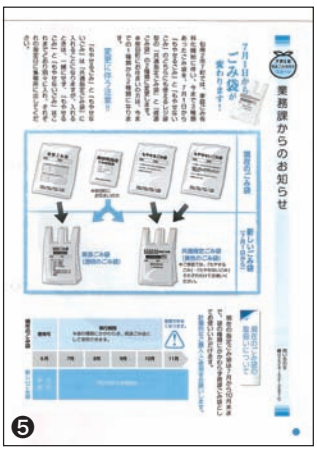
▲第１号では、“北方新時代”といわれ国土開発が進む1970年代の情勢や、仙南広域圏のめざす新しいふるさとづくりについて書かれています。（昭和47年５月１日発行）



昭和47年5月1日に「せんなん広域」として発行を始めてから、44年が経ちました。平成19年に現行の「せんなん広域エリアマガジン」に名前を変え、現在に至るまで消防や衛生、教育、イベントなど、仙南地域の様々な情報を届けてきました。そんなエリアマガジンも今号で100号を迎えました。

紙面で振り返る　組合のあゆみ

昭和 40 年代における経済の高度成長に伴い、生活環境の高度化・専門化が要求され、個々の市町単位でサービスの向上を図ることが質的・規模的に困難となりつつあった消防・ごみ・し尿・火葬業務等の事務処理を、仙南広域圏一体で共同し、効率的に行っていくことを目的に、昭和 45 年８月８日、仙南地域広域行政事務組合が設立されました。



❶ No.14「119 番通報　新システム導入」
昭和63年４月１日より、「消防緊急情報システム」が導入され、それまでそれぞれの市町の消防署で受けていた119番通報を、全て消防本部通信指令室で受けるようになりました。（昭和63年３月15日発行）

❷ No.15「リサイクルセンター操業開始」
平成元年９月には、待望の仙南リサイクルセンターが完成し、行き場のなかった粗大ごみや不燃ごみを適切に処理できるようになりました。（平成元年６月１日発行）

❸ No.19「AZ9 マーク作成」
平成５年３月25日、AZ9（アズナイン）のシンボルマークを作成しました。また、同年10月からは「完全週休二日制」の導入に伴い、毎週土曜日が休みとなりました。（平成５年８月１日発行）

❹ No.30「えずこホールオープン！」
平成８年10月26日、仙南芸術文化センターがオープンしました。記念すべき第１回目の主催事業は、レニングラード管弦楽団による演奏会でした。（平成８年５月１日発行）

❺ No.88「ごみの有料化始まる」
平成24年７月１日から家庭ごみの有料化が始まり、ごみ袋が新しいものに変わりました。有料化後、ごみの排出量は３年連続で減少しています。（平成24年４月１日発行）

◀昭和47年発行の第１号には、13年後の仙南広域圏を予想した「昭和60年にはこうなる」という記事もありました。